



子どもを事故から守る 誤飲事故防止

問い合わせ先
なしのき 543-6716 ほりむこう 541-2277
さくらんぼ・りんご・くるみ・いちご・もも

昭島市ホームページからも
ご覧いただけます。

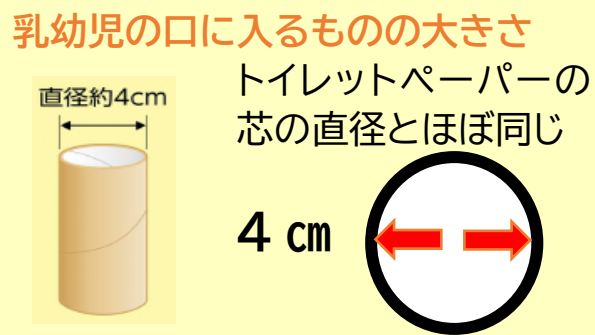


事故防止のポイント

子どもは色々なものに興味を持ち、どんなものでも口に入れてしまいます。また、危険を認識して行動することができません。事故を未然に防ぐため、日頃からどのような所に危険が潜んでいるのか確認し、安全対策を心掛けましょう。

- **危険なものを置かない、片付ける。**
発達段階に合わせ、危険なものを片付け、細かい玩具は個数を確認して、しまうようにしましょう。
- **危ないものや行動を子どもに伝える。**
日頃から、小さいものを口に入れないように伝えましょう。
- **危険なものに、子どもの手が届かないようにする。**
タバコ、電池など口に入れると危険です。手の届かない所に置きましょう。
- **安全な環境を作る。安全に配置された製品を使う。**
ベビーゲート、ベビーサークル、チャイルドロックを使用して、工夫しましょう。

救急手当の方法や
相談先を日頃から
確認しておきましょう



食品は子どもの成長に合わせて
大きさ等に気をつけましょう。
球形の食品(ミニトマト、果物、飴、チーズ、うずらの卵等)は、喉に詰まることがあります。4等分にカットするなど、小さくして与えましょう。



誤飲の多い製品・食品
シール・ビー玉・シャボン玉・ペットボトルの蓋
ビニール袋・絵本のページ・飴・パンなど

医療機関への受診が多い製品
大人やきょうだいの薬・タバコの吸い殻
化粧品・ボタン電池・シリカゲルなど

間違えて飲んでしまう
子どもと同じコップに入れたお酒・ペットボトルに入れた洗剤など

病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 迷ったら...

#7119

☎ 電話で相談
東京消防庁救急相談センター
こちらからもつながります
23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323
東京消防庁救急相談センター 東京都医師会 東京都福祉保健局

吐かせ方

液体の場合

0~5歳児



ひざにもたれさせて、子どもを前かがみにさせ、指を舌の奥に入れる。

固体の場合

0~1歳児



頭を下に向けてあごを支え、肩甲骨の間を平手でたたく。

2~5歳児



抱きかかえて、みぞおちの辺りを両手で圧迫する。

誤飲の応急処置

誤飲の事故が多いのは、3歳児以下。危険な物は子どもの手の届かない所に置くことが重要ですが、万が一誤飲してしまったら、落ち着いて素早く対処しましょう。

- 1 まずは誤飲した物を確認。
- 2 口の中に残った物があれば、指でかき出す。

チェック!
・何を飲んだか
・量はどのくらいか



こんなときは
すぐに救急車を!

- 呼吸困難を起こしている
- 顔色が真っ白になっている
- けいれんを起こしている
- 意識がない



判断に迷ったら「中毒110番」に相談

(財) 日本中毒情報センター

つくば中毒110番 029-852-9999 (365日 9時~21時対応)
大阪中毒110番 072-727-2499 (365日 24時間対応)